



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.6 (123)

2014.6.30

今年の「梅雨」は、場を選ぶようで、鹿児島や関東で派手に暴れる感じです。東京で雹が降ったニュースに、地球規模での異常気象を実感しています。だんだんと暑くなって参りました。会員の皆様とともに、暑い盛りに向けて一歩ずつ前進したいと存じます。6月の活動を以下にご報告いたします。

1 定例研究会[東京]2014-6-12が以下のとおりに開催されました[敬称略]。

日時：2014年6月12日（木）。13時30分～17時。

会場：生涯学習センターばるーん 304号室

演者・演題：

大江基貴. Smoothing receiver operating characteristic curve.

五十川直樹. 既存対照を用いた臨床試験デザインについて。

丸尾和司. シミュレーションに基づく臨床試験の標本サイズの設計について。

松原義弘. 最近の臨床評価に拾う話題。

後藤昌司. 医学統計研究会10周年記念事業について。

後藤昌司. 大分統計談話会50回記念大会について。

課題検討会は「安ん座」で開催され、6名の方々が参加されました。次の日（6月13日）の特定主題シンポジウム「樹木構造接近法でみる臨床評価」の話題を交え、活発な議論が交わされました。



一定例研究会[東京]2014-6-12でのひとこまー

2 特定主題シンポジウム 2014「樹木構造接近法でみる臨床評価」が以下の次第で開催されました[敬称略]。

日時：2014年6月13日（金）。10時00分～16時30分。

会場：青山生涯学習館 学習室兼レクリエーションホール 3F

・開会の挨拶

河合統介（ファイザー株）

<午前部>

- ・ 樹木構造接近法の諸系：CART 法とその周辺
- ・ 統計解析環境 R による樹木構造接近法の実践

座長：藤澤正樹（あすか製薬株）

下川敏雄（山梨大学）

下川敏雄（ 〃 ）

<午後部>

- ・ 数値例でみる樹木構造接近法
- ・ 経時対応データ解析における樹木構造接近法
- ・ 樹木構造接近法による生存時間解析
- ・ 閉会の挨拶

座長：河合統介（ファイザー株）

松原義弘（特定非営利活動法人 医学統計研究会）

中村将俊（大日本住友製薬株）

池田公俊（ノバルティスファーマ株）

杉本知之（弘前大学）

後藤昌司（特定非営利活動法人 医学統計研究会）

課題検討会は、「醍醐味」で開かれ、11名の方々に参加され、最近の医療に関する硬軟の話題に議論が交わされました。以下に参加者からの代表的な感想をまとめて掲載いたします[参加者16名：支援参加者7名]。

◆本シンポジウムでは、時宜を活かした医薬品の研究・開発の必然性を考慮して「樹木構造接近法でみる臨床評価」の主題を組上にあげました。これらの主題および講演・討論についてご意見・ご感想をお聴かせください。

- ・ 大変に有益なシンポジウムであったと思います。とくに、経時推移のデータをグルーピングしたく、池田公俊先生の L-CART・L-MARS は助けになると感じた。（匿名）
- ・ 樹木構造接近法について、本日、初めて勉強しました。実際の業務（市販後調査の解析など）で利用してみたいと思います。（匿名）
- ・ 樹木構造接近法について、ほとんど知識をもっていませんでした。下川敏雄先生の講義で、なんとなく形が分かり、以降のご講演の内容の理解が深くなりました。非常にわかり易い解析手法だと感じました。（匿名）
- ・ 樹木構造接近法の基礎から論文紹介まで幅広い内容があり、有意義でした。（多田圭佑）

◆今後にとりあげるべき主題や話題についてご意見・ご提案をお願いいたします。また、ご希望の講師についてもご提案いただくと幸いです。

- ・ 今回の樹木構造接近法は、実践で活用場面が多く、とても有益でした。一方、古典的な多変量解析（判別解析、クラスター分析、重回帰解析など）といった方法論との比較も聴きたいと思いました。また、多変量解析でも、重回帰解析を用いて p 値を指標とし、有意な因子を影響する因子として選択して、最適なモデルとして結論をすることがある。実際、残差も大きく、意味がないモデルに感じるがこのような誤法について正してほしい。（匿名）
- ・ 「欠測データの取り扱い」を希望します。（匿名）
- ・ Enrichment design をはじめ、個別化医療に関する最新の主題をとりあげて欲しい。（匿名）

お礼：本シンポジウムに貴重な時間を割いてご参加いただいた方々、および講師の先生方にお礼を申し上げます。また、下川敏雄さん・河合統介さんには、本シンポジウムの組織者として、さらには講演者・座長として、そして藤澤正樹さんには座長としてお世話になりました。心よりお礼を申し上げます。樹木構造接近法に関する新旧の話題についてご紹介・講演いただいた中村将俊、池田公俊、杉本知之の講師の方々にお礼を申し上げます。樹木構造接近法は、現状での「集団」から「個」への特徴を評価す

る唯一の代表的な接近法と考えられます。今後にかけて大きく適用の場が広がると思います。ご参加いただいた方々、また、講師の方々に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

事務局：後藤昌司・松原義弘





—特定主題シンポジウム2014でのひとこま—

3 サマーフォーラム2014が以下の次第で開催されます[敬称略].

- 定例会[大阪]2014-7-19 および定例研究会[東京]2014-7-19 との共催で日本計算機統計学会スタディ・グループ「統計科学における包括モデルの構築と応用」のシンポジウム [代表：丸尾和司] が開かれます.

日時：7月19日(土). 9時30分～13時30分.

会場：茨木市 クリエイト・センター [会議室].

- ボウリング大会

日時：7月19日(土). 15時00分～17時00分.

会場：T.T BOWL 茨木 BRA 特別レーン.

- 情報交換会 (懇親会)

日時：7月19日(土). 18時00分～.

会場：三府鮎 阪急茨木店. 茨木市双葉町7-24 Tel:072-637-0888

当日連絡先：吉川隆範 (090-5892-9593)

4 特定主題セミナー2014「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」が以下の次第で開催されます[敬称略].

日時：2014年8月7日(木)・8日(金)

会場：生涯学習センターばるーん(予定).

組織者・講師：前田 博・藤澤正樹・平澤豊人・服部祐治・横堀 真・川村教子

プログラム：

8月7日(木)

- DM 概論, DM 業務
- 臨床試験における統計的要件
- CRF 設計, CRF レビュー, データ入力・修正, EDC

8月8日(金)

- DM 計画書, DM 報告書, 信頼性調査
- 症例の取扱い, 演習
- DB 構造の標準化・CDISC・概論および実装事例

・演習問題回答・討論

参加人数枠：25名（申し込みはWebで公開していますので、ご対応をよろしくお願いたします）。

5 今後に予定されています諸種の事業について時間を追ってご連絡いたします[敬称略]。

(1) 夏季セミナー2014を以下の次第で予定しています。

日時：2014年8月29日（金） 9時30分～17時。

会場：A&H会議室

組織者：松原義弘・後藤昌司

(2) 本研究会の設立10周年記念の「特別講演会」が以下の次第で開催されます。

日時：2014年8月30日（土）13時～17時30分

会場：A&Hホール

プログラム：

座長：白旗慎吾・松原義弘

挨拶：後藤昌司

講演：椿 広計（統計数理研究所リスク解析戦略研究センター長）．演題：未定

講演：熊谷雄治（北里大学東病院 臨床試験センター長）．演題：未定

講演：柴田義貞（福島医科大学教授）．演題：未定

(3) 本研究会の設立10周年記念「祝賀会」が以下の次第で開催されます。

時間：2014年8月30日（土）18時30分～20時30分

場所：千里阪急ホテル 樹林の間

参加費：講演会のみ [5,000円]．祝賀会 [講演会を含み：15,000円]

編集後記①：「歳月人を待たず」は、いつの時代でも大切な箴言であるが、何歳になっても「仕事に追われる」。本研究会の10周年記念行事については5 (2), (3) に記しているが、具体的な段取りや詳細な内容、とくに「祝賀会」のプログラムやお知らせが遅れている。会員の方々には、万端整えて「全員参加」の心意気で準備をお願いしたい。……………

……………名和田 潜

編集後記②：今年は、いろいろと「記念」のつく年のようなのである。本研究会と連携している「大分統計談話会」も本年10月（2014年10月9-10日）の大会で第50回を迎える。その「記念大会」に向けて、準備が進行中である。多くの方々のご参加・講演が期待されている。……………後藤昌司

編集後記③：最近の情報機器の発展で誰もが知識を広くもつことができるが、智慧はその個人に依るようである。とくに、スマホの普及で万人がそれに夢中になっている姿をみると、だんだん「痴的」ムードが心配になる。確かに、「知識は伝えることができる。しかし智慧は人に伝えることができない」の箴言はHermann Hesseに依るが、智慧をより大切にすることが必要のように思う。格言とか、箴言は智慧を生かす料理の「塩」といった感じである。ここが出番というときにこそ塩の出番があり、いい塩梅は人生の妙味になりそうである。……………名和田 潜

Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲

連絡先：医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。